

秋本蘆風 あきもと りゆうふう ドイツ文學者。明治十一年十一月十一日靜岡縣生れ、
 昭和二十九年四月十日歿（八六―一九四）。本名喜久雄。筆名きこく雄、
 秋元、蘆風子、虹波、Akimoto、K. Akimoto等。明治二十八年東京外國
 語學校獨逸語科卒。渡邊義統夫人學豫科教授等之務め、戰後郷里へ隱棲
 した。

譯著書、ゴエーテ作「獨逸詩」(ハルタン・ドロテーヤ) (譯、明治
 四十年六月一日也奈義書房)、コシユル「鐘の歌評釋」(明治四十年
 八月十五日東京亞書房)、ワグネル作「タンホイゼル」(譯、明治四
 十四年十月十五日精華書院「獨逸文藝」)、獨逸名詩評釋 (大正
 二年二月十日精華書院)、獨逸詩歌講話 (大正二年六月二十八
 日京都・南江堂京都支店)、現代獨逸詩人 (大正四年九月十日南
 江堂書店)、ワグネル作「樂タンホイゼル」(譯、再版、大正九年十
 二月一日精華書院)等。

